

アジャイル開発における チーム評価の定量化とその評価

富士通株式会社 大柚智 ooyu.satoshi@jp.fujitsu.com

開発における問題点

アジャイル開発の普及を支援するにあたり、支援先チームに対してアジャイル開発がどの程度できるようになったかの評価を付ける必要がある。その際に、現状は支援担当の主観で評価を付けており、担当間で評価にばらつきがあるため、すり合わせに時間がかかる。

手法・ツールの適用による解決

VersionOne社の示すAgile Assessmentの10の観点を元に、自組織の実態に適した評価指標を策定し、アジャイル開発チームの評価を定量化し、実プロジェクトにおいて測定を行い検証する。

Agile Assessment

1. Team Communication
2. User Accessibility
3. Team Location
4. Team Structure
5. Delivery Frequency
6. Measurement of Progress
7. Ability to Change Direction
8. Testing
9. Planning Approach
10. Process Philosophy

スキルマップ

見積り力

提案手法

		係数	メンバA	メンバB	メンバC	チーム
業務知識	システムA	0.3	◎		○	8
	システムB	0.5	○		△	4
	システムC	0.2	○	◎		8
専門スキル	調査スキル	0.4	○	△	○	7
	設計スキル (システム、外部、内部)	0.2	○	△		4
	実装スキル (実装、レビュー)	0.2	○		○	6
	テストスキル	0.2	○	◎		8
点数		6.6	2.6	3.2	12.4	

凡例
◎(5点): 他人に教えられる
○(3点): 一人のできる
△(1点): 補助があればできる
空欄(0点): 知識なし

- 見積り誤差の平均と標準偏差を2週間ごとに測定

測定データ: スキルマップ

ベテランチームのスキルマップ

		係数	I	J	K	チーム
業務知識	システムA	0.4	◎	◎	△	11
	システムB	0.4	○	◎		8
	システムC	0.2	△	○		4
専門スキル	調査スキル	0.3	◎	○	△	9
	設計スキル (システム、外部、内部)	0.2	◎	○	△	9
	実装スキル (実装、レビュー)	0.3	○	◎	△	9
	テストスキル	0.2	◎	○	△	9
点数		7.8	8.2	1.4	17.4	

Jさんに依存

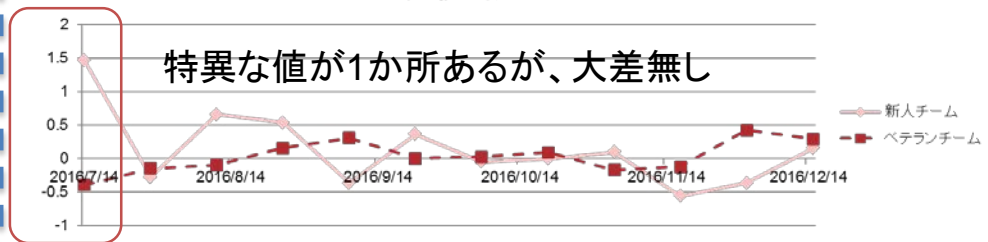
新人チームのスキルマップ

		係数	L	M	N	O	チーム
業務知識	システムD	1	△	○	△	◎	10
	調査スキル	0.1	○	○	○	△	10
専門スキル	設計スキル (システム、外部、内部)	0.3	△	△	△	△	4
	実装スキル (実装、レビュー)	0.3	○	△	△	△	6
	テストスキル	0.3	△	△		△	3
点数		2.8	4.2	1.9	6	14.9	

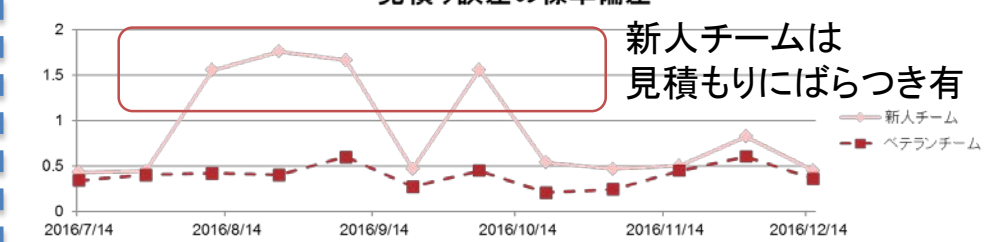
専門スキルの不足

測定データ: 見積り力

見積り誤差の平均



見積り誤差の標準偏差



- チームの評価の定量化が出来た
- 他評価指標の定量化が今後の課題